



とつか

2021年9月会報 第323号

- 2021 国際会長(IP) Kim Sang-chaе (Korea)
- 主 題 “Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」
- スローガン “Heal the World with Love & Dignity” 「愛と尊厳で世界を癒そう」
- アジア太平洋地域会長(AP) 大野 勉 (神戸ポート)
- 主 題 “Make a difference beyond the 100th” 「100年を越えて変革しよう」
- スローガン “Be healthy!” 「健康第一！」
- 東日本区理事(RD) 大久保 知宏 (宇都宮)
- 主 題 「私たちは次の世代のために何ができるか？」 “Think for the next generation.”
- 2022 スローガン「絆を深める時」 “We are stronger together than we are alone.”
- 湘南・沖縄部部长(DG) 若木 一美 (横浜とつか)
- 主 題 「咲かそう 人の輪～明るく・楽しく・元気よく～」
- 主 題 クラブ会長 若木 一美 会長主題 「咲かそう 人の輪」
- 副会長 吉原 訓 書記 加藤利榮 会計 岡 進 ネット 吉原和子 担当主事 瀬戸俊孝

会員ひと言 ☆TOKYO 2020☆ 岡 進



賛否両論あったオリンピックも終わり、次はパラリンピックが始まる。
 コロナ禍での開催の評価も多々あるうが、今回のオリンピックで、個人的に印象に残った1つは新しく採用された種目。スケボー、スポーツクライミング、サーフィン、空手。正直な話、見ていても何が他の選手より凄い技なのか、分からないものが多い。しかし選手がその競技が大好きで、楽しみながらチャレンジしているのがよく伝わってくる。ライバルも、敵というよりはプレイ仲間。従来の競技のように、細かい所まで厳しく指導をするコーチもないように聞く。自分たちで想像/創造して新しい技を編み出し、果敢に挑戦する。考えてみれば、従来の他の競技も初めは皆そだったのかもしれない。スポーツの原点を見ているようだ。

今回は選手どうしが称え合う姿も多かった。特に勝者が敗者を労わり励ます姿。競歩、サッカー、スケボーなど...
 若い人たちのこのような姿に新しい息吹を感じる。コロナ禍、自然災害、格差、戦禍、人種差別など、先が思いやられる最近の世の中だが、1つの希望を見出す機会でもあった。
 皆さんはいかがでしたか...

◎今月の聖句◎

主は人の一歩一歩を定め 御旨にかなう道を備えてくださる。

—詩編 第37章23節—

主は私たち一人ひとりの歩みを見ておられます。人生の祝福は、その長さよりもその内容にあります。主を愛し、主を喜び、主に喜ばれる、そのような道より優れた道は他にはありません。
 私たちを最高に生かし、用いてくださる主にこの人生をささげたいと願います。

強調月間 : EMC

Extension, Membership & Conservation

クラブ拡張・会員増強・維持啓発運動を意味する。ワイズメン運動の拡大強化を図る基本的用語。会員の高齢化・減少に歯止めと、新しいクラブ作りと新会員の獲得・増強は喫緊の課題、また、新しく会員となった人には一日も早く良きワイズ理解者になってもらうことが大事ですね。

例年、9月に開かれるコースボランティア・リーダーズフォーラムなどはワイズPRの絶好の機会...

会員数	8月・中止		出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOF・A S F (円)	B A P Y (円)	ロ	バ
メ ン	12	メ ン	0	他	(円)		(g)					
メネット	9	メネット	0	前月迄		0		0	0	0		0
		ゲストら	0	当 月		0		0	0	0		0
計	21	合 計	0	累 計		0		0	0	0		0

★強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う★

☆とつかクラブの今後について☆

若木 一美



みなさま お元気ですか...? しばらくお目にかかっておりませんが、コロナ太りや足腰の衰え等々...体調は大丈夫ですか...?

前期の総会や今期の事業・予算も決まらぬまま3カ月が過ぎようとしています。会計は岡さんによりしつかり決算が出来、予算(案)も立っておりますが、そのままになっており、申し訳なく思っております。

当面、9月21日(火)の第2例会を開催することができれば...と考えております。そして10月恒例の横浜YMCAのチャリティーランは、昨年同様オンライン形式で実施されますし、また本年は徒歩企画もあり、私とその実行委員長、瀬戸担当主事が事務局責任者と、とつかの'メイ'コンビです。みなさま、この徒歩企画に是非ご応募ください...!



11月に入るとバザー、今年は期間を長くして献品や販売を行う予定です。追って詳細はお知らせしますが、こちらの方も、メイコンビが運営に当たります。

さて、お次は12月の忘年会や翌1月の新年会、これらは、今の時点では望み薄、2月の河津桜も如何かな... ➡

といった処が今の偽らざる心境です...という訳で、今期も、この状況のままで終わってしまうような気がしなくてもありません...。私の提唱する「咲かそう 人の輪」はいつになったら咲かすことが出来ることやら... (?)

お話しは一転しますが、先日、東京五輪が閉会しました。閉会式の中で、日本三大盆踊りの「西馬音内(にしもない)盆踊り」(秋田県羽後町)と「郡上(ぐじょう)踊り」(岐阜県郡上市)が紹介され、次は「阿波踊り」(徳島)と思いきやナント 東京音頭でした。オンドが流れ始めると、外国人選手は「見よう見まね」で踊っておりました...

かつて、中高生を連れて外国に行くと、どこでもその土地の踊りを披露してくれたのを思い出しました。日本の青年たちは、AKBなどの踊りを披露しましたが、現地の皆さんからは、「これがニッポンのオドリ...?」と聞かれ、返すコトバもなかったことを思い出しました。

ニホンの伝統文化も 大切に継承したいものです...



☆湘南・沖縄部事業計画決まる☆

～第1回湘南・沖縄部評議会から～ 若木 一美



7月31日(土)、第1回部評議会が開催されました。定刻15時、横浜中央YMCAに部長ほか一部の役員が集まり、他の構成員はオンライン参加となりました。ZOOMは区所有のZOOMを使用し、安

部正伴部担当主事と青木英幸横浜クラブ担当主事に配信・操作等のご尽力をいただきました。有り難うございました。

部長による開会点鐘、ワイズソングを除くセレモニーが行われ、この日、書記デビューの板崎淑子さん(鎌倉)による定足数の確認があり、議事へと移りました。

第1・2号議案は、古田直前部長による事業報告と決算報告、続いて峯尾監事から監事報告があり、質疑では厚木クラブから、沖縄クラブが西日本区に移る状況について、1,2質疑があり、古田直前部長から、「現在、西日本区で調整中である。」旨の回答があつて、採決に入り、承認されました。

第3・4号議案は、部長からの今期事業計画(案)と個別事業(案)が提議され、部大会は10月23日(土)・湘南とつかYMCA1階ホールに岩室紳也先生を迎え「感染症との向き合い方」をテーマに公開講座で開催すること・新年会は感染状況を見て判断すること・公式訪問は各クラブがコロナ対策等が整った段階で連絡をまっけて行うことなどの提案があつて、いずれも拍手をもって承認されました。 ➡

第5号議案は、今期予算案が提案され、1, 2意見が出たのち承認されました。

第6号議案は、次々期部長が立候補・推薦がある場合に來たる8月31日までに部長あてに、ない時はAグループから選出されることが確認され、承認されました。

報告・連絡事項では、①7月10日開催の区役員会報告。②8月7-8・地域ユースコンボケーション、9月11-12日ユースボランティア・リーダーズフォーラム(いずれもオンライン)。③エクステンション関係では、「動画で分かるワイズ紹介」を近く配布するので活用されたい。また、今年度第1回エクステンション委員会を9月に開催する旨の案内をする予定にある(この項、辻委員長)、等々。

クラブ報告では、①9月1日に厚木と共催で日本語スピーチコンテストを開催する。東京・横浜のYMCAから8名がオンラインで参加する(古賀会長)。②7月13日、ZOOMにより鎌倉市文化財学芸員玉林美男氏による「吾妻鑑入門」の卓話があつた(千葉副会長)。③オペリン保育園・大和YMCA協同のフードライフを実施、厚木YMCA 専門学校への支援(佐藤会長)。④10月3日にミニバスケ・ワイズカップを開催予定、当日部長公式訪問をお願いしたい(黒川会長)、ほか。

議事終了後、当日来所・出席されていた沖縄クラブの伊藤康一さんから、2年間にわたった部会計を無事終えることができたことへの感謝の言葉が述べられ、峯尾監事の講評をもって、定刻17時、評議会は1時間無事終了・解散しました。

【三秋随想】

☆ 夢の編集 ☆



区ヒストリアン 仙洞田 安宏 (甲府クラブ)
夢はいつか叶うものだとされます。
少年の頃の一時期は、雑誌編集者になることが夢でした。当時購読していた雑誌に惹かれ、自分も作る側になりたいという単純な発想でした。

その後の進路は諸事情で建築を学ぶ道に進まざるを得ませんでした。建築の世界を知ると、設計事務所を開きたいという夢を持つようになりました。29歳の時、本来の思惑とは全く別の事情で独立しました。内容はともかく、形だけは夢が叶った訳です。それが来年で40年になります。この間、「編集者」とは縁のない生活を送っていましたが、ワイズに入ってクラブのブリテンを担当する機会があり、少年時代の夢が思わぬ形で実現しました。さらにクラブの周年記念誌や東日本区の区報の編集にも携わることができました。

考えてみると、「編集」も「設計」も共通する部分があります。どちらも素材を取捨選択し、構成し、配置し、関連づける作業です。能力の有無は別にして、このようなことが自分の性分に合っていたのかもしれない。

さて、古希に近づくにつれ、仕事もワイズもあと10年、と思うこのごろです。人生を一篇の物語に譬えるなら、最終章に差し掛かったところでしょう。残りのチャプターをどのように「編集」しようかと思ひめぐねていたら、ひとつの夢を思いつきました。人生という物語の中の「ワイズの章」を編集することです。これまでのブリテンなどに投稿した文章や、関わった活動の記録などを纏められたらと思います。私にとってはそれが最後の「編集」になるのか、それともその先に別の「夢の編集」が待っているのか、現実の世界は思うように編集できるものではありませんが、それもまた楽しみの一つと思っています。

(仙洞田様、お忙しい中 大変示唆に富んだご寄稿を賜り有り難うございます。)

レザン通信

横浜YMCA ワークサポートセンター 相馬 良文



8/7~15は夏季休館をしました。長期のお休みには生活のリズムを乱すこともあり、休み明けの活動に支障が出るケースもあります。昨年から「生活支援プログラム」として休館中の平日午前中に、レザンを開放しています。朝起きて・食事をして・出勤する、このリズムがとても大切です。レザンでは、「人生ゲーム」「UNO」などの対面ゲームを楽しみながらコミュニケーションのトレーニングを行いました。4日間で31名が参加し、有意義な時間を過ごすことができました。



【随想】

☆おきなわ考☆ (承前) 加藤 利榮

- ⑨ 89年に至り、区連絡主事(当時)の後藤邦夫さんと連絡を取り始め、「...那覇クラブのメンバー数が9名になったら、正式に(日本区に)復帰してもらいましょう...」との合意に達した。(その手続きは彼に一任。)
⑩ このヤリトリの中で、3度ほどナハの有志と膝を交えて...のため、菅沼義久さんとオキナワを往復しました。現地では、呉屋・長嶺・大森・屋良・松田・知念・妹尾・上間らの諸君が常に対応してくれました。
⑪ 同年7月、後藤氏から電話、「...新たに2名が登録し、計11名になりました、早速手続きに...」ということで、86年以来の'理事預り'から3年を経て'復帰'の手続きが石井一也 35代理事の下で進められました。(参考・90.3.6付那覇クラブの会報と同年6月号の横浜クラブのブリテンに、その間の事情の記載あり。)
⑫ 明けて90年6月、札幌での日本区大会には、伊舎堂守雄・長嶺将邦・呉屋良文・屋良政旦の諸君が参加し、復帰の喜びとともに交流を深めた。
⑬ 94年に至り、ナハは「沖縄しいーさあークラブ」(19名)をチャーターするまでになった。(このクラブは、2010年6月の解散まで16年の間 存続した。)
⑭ 2年後の96年10月には、1泊2日の日程で南東部(湘南・沖縄部の前身、小原武夫部長)の部会を沖縄本島中部・恩納村のリゾートホテルにおいて、195名が参加して開催され、さらに6年後の2002年6月14日~16日、東日本区大会が那覇・しいーさあー両クラブのホストにより、460名が参加して同じホテルで開催、大変な盛り上がりを見せた(小原武夫第5代理事の主宰)。
⑮ 2009年11月、金沢八景クラブのスポンサーにより、沖縄クラブが設立された。会員数107名という国際でも最多、話題を呼んだことは吾人の記憶に新しい。
⑯ そして前月、本欄冒頭で触れたように、玉城会長から那覇クラブの解散届が以下の理由により提出された。

- ア 会員の減少(解散届け時3名)
イ 新会員の入会困難
ウ 会員の高齢化・クラブの財政難
ただし、今後は各人で沖縄YMCAを支援する。
2) その在り方

- ① 09年に設立された沖縄クラブは、ナハとは対照的に、京都トウービークラブとDBCの締結式をナハの会場で開催したり、19-20年度の湘南・沖縄部の部長に名乗りを挙げて就任し、また2年間にわたって部の会計を担当するなど、ナハとはやや異なった歩みを見せ始めている。
② さらに、本年7月の新年度をめぐり、西日本区に移籍したことが明らかになった。
③ ナハの皆さん、ナハの灯を消さない、否、消したくないので、此处でもう一度、モアイ当時の事を思い起こしてみられてはいかがでしょうか...。



~以下次号~

YMCA だより

☆夏のプール 盛り上がりました! ☆

クラブ担当主事 瀬戸 俊孝



今夏は、昨年に引き続きコロナウィルス感染症と共に過ごす2年目の夏でした。子どもたちだけでなく、家族にとっても過去の夏休み期間のように、旅行や海水浴、お盆の帰省、キャンプなど今までどおりにはいかなかったと思いますし、どこまで活動してよいか各自が自問自答した夏休みになったと思います。

そんな中、YMCA では夏季キャンプを企画して、多くの参加者が集まりましたが、8月に入り緊急事態宣言が発令されたことで残念ながら中止となりました。一方、水泳・体操講習会は、館内で感染対策を十分に行い、予定どおり実施できました。一昨年と同じくらいの参加者が集まり子どもたちにとって良い思い出になったと思います。(写真)

そして、今夏、家族での外出が極端に少なくなったこと、多くの方が運動不足になっておられることを解消するために「ファミリースイミング」というイベントを実施しました。土曜日の夕方から夜にご家族でプールを楽しむ時間を設定し、参加者を募ってみました。当初は、夜間ということもあり、果たしてお子さん連れで来られるか?...と心配もしましたが、いざ開講してみると、連日多くの参加者が集まり、たくさん笑顔が見られました。家族同士の触れ合いなど運動する機会が提供できたことはとても有意義だったと思います。

まだまだ収束には程遠い状況ですが、私たちも一人ひとりの健康と笑顔が今だからこそできることを願ってまいります。



☆今月の歳時記から☆

‘秋澄む あきすむ’ と ‘秋高し あきたかし’

‘秋澄む’、酷暑といわれ、暑かった夏もようやく峠を越し、空気も澄んで遠くの山がよく見えるようになると大陸からの高気圧が張り出し、からっとした日が続きます。上空の湿気の無い風が降りてきて、物の音まで澄んで...

秋澄む日さし入りがたし黒部川 秋櫻子
霧晴れて岩場の修羅も秋澄みぬ 吐天

次に‘秋高し’、9月も末になると大気が澄み、空も高く感じられ、その趣を言い表したコトバですが、杜審言の詩に「秋高くして塞馬(さいば)肥ゆ」とあり、空が澄みわたって高く見え、辺境の砦の馬も逞しく肥えて勇むという意味、今では秋の大気が澄んでいる様の意に用いられる。

一塊の雲ありいよゝ天高し 虚子
大雨のあとかぐわしや秋高く 立子
—午—



☆9月中の‘あつまり’について☆

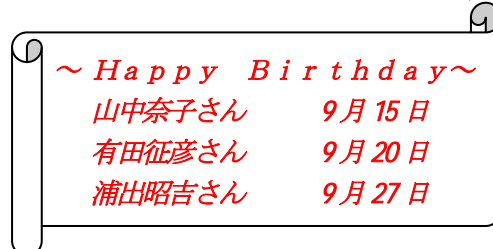
当面の‘あつまり’に関し、担当主事らと協議して、皆さまにはなるべくは早目・早目にお知らせしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

今の処、9月12日(日)までの期限で神奈川県にも、緊急事態宣言が出ております。できるだけ、外出・会合を控える趣旨から、正式な会合～例会など～は、12日以降になると思われます。

また、メールなどで、会合に関する具体的な事柄については連絡・周知させていただきます。

くれぐれもご健康にはご留意・ご自愛のほどを...

会長



【掲示板】

- ◎ このブリテンが皆さまのお手元に届くころには、パラリンピックの真っ最中だと思います。‘会員ひと言’に岡さんも書いておられるように、先だっのオリンピックでは、先の思いやられる今の世の中にあって、一つの希望を見出すことのできた良い機会となったのではないのでしょうか。そして、今、またこのパラリンピックでも...

- ◎ 例年ですと、7月の総会例会に合わせて、クラブが2009年以来支援を続けている子ども用点字絵本ライブラリー Uni Leaf の大下利栄子代表をお招きし、その活動状況を伺い、支援金をお渡ししていますが、今回はコロナの影響からお招きすることが出来ないままになっております。昨年、念願の一千冊に達し、同時に内閣総理大臣賞を受賞されました。



事の始まりは、横浜YMCAが実施していた‘夢すくすく賞’の2008年度に特別賞を授与されたことに端を発しております。大下さんは、英国のロイヤル・アカデミー(王立協会)が行っていたこの方法を採用し、日本で唯一の活動として現在に至っております。目標は五千冊とのことで、先は長いですが、最近、点字化のための新鋭機も導入されました。クラブとして可能な限り支援を続けたいと考えております。

また、湘南・沖縄部も、とつかクラブからの要請に従い、2010年度以降、共に支援を継続中です。

なお、UniLeafのURLをご参考までに記載します。

<http://uni-leaf.org/5695>

(後記)

今やパラリンピックの真っ最中...、あの感動が再び...!

Change! 2022~ (T/K)